

伊勢崎市まちづくり市民ワークショップ報告書（第3回）

令和5年10月

目次

1. 伊勢崎市まちづくり市民ワークショップについて	2
2. 市民意見	9
2-1. 意見の分類	10
2-2～2-3. 第1ラウンド	11
2-4～2-5. 第2ラウンド	15
2-6～2-7. 第3ラウンド	20
3. 参加者アンケートの結果	26
4. 当日の様子	36

1. 伊勢崎市まちづくり市民ワークショップについて

1. 伊勢崎市まちづくり市民ワークショップについて

1-1. 開催の背景と目的

開催の背景

- 伊勢崎市では、令和7年度を始期とする第3次伊勢崎市総合計画の策定を進めています。
- 第3次伊勢崎市総合計画の策定においては、下記2点が重要であることを踏まえ、計画策定の段階で市民に参画していただくため、「伊勢崎市まちづくり市民ワークショップ」を開催しました。
 1. まちづくりに意欲がある市民または市と関わりがある立場の建設的な意見を取り入れること。
 2. 計画の策定段階から市民が参画し、まちづくりについて主体的に検討していただくこと。

開催の目的

- 伊勢崎市民等が抱く、市の魅力や将来の市に対する思いや願いを、他の参加者との交流・意見交換を通じて挙げてもらう場を設定し、市民が主体的に検討した上で、第3次伊勢崎市総合計画の策定に繋げることを目的としています。

1. 伊勢崎市まちづくり市民ワークショップについて

1-2. 開催回数と各回のテーマ

開催回数

- 本ワークショップは、全3回で開催しました。
- 各日程（全日程、14:00~16:00の2時間で実施）

第1回：9月10日（日）

第2回：9月24日（日）

第3回：10月15日（日）

今回

各回のテーマ

■ 第1回

メインテーマ

「市の将来像を考える」

ラウンドテーマ

1. 伊勢崎市の好きなところ
2. 他にはない伊勢崎市の魅力
3. 10年後の理想の伊勢崎市

■ 第2回

メインテーマ

「各世代にとって理想の伊勢崎市を考える」

ラウンドテーマ

1. こどもにとって理想の伊勢崎市
2. 若者にとって理想の伊勢崎市
3. 高齢者にとって理想の伊勢崎市

■ 第3回

メインテーマ

「多様な人が共に過ごせる伊勢崎市を考える」

ラウンドテーマ

1. 地域間の共生
2. 世代間の共生
3. SDGsによる共生（外国人、障害者など）

1. 伊勢崎市まちづくり市民ワークショップについて

1-3. 開催概要

伊勢崎市まちづくり市民ワークショップの開催概要及び意見募集の実施概要

■ 当日の開催概要は下表のとおりです。

項目	概要
開催日	令和5年10月15日（日）
開催時間	14：00～16：00
開催場所	伊勢崎市役所
開催方法	ワールドカフェ形式 (※カフェのようなリラックスした雰囲気です。少人数ごとのテーブルに分かれ、メンバーをシャッフルして対話を行い参加した全員の意見等を共有する形式)
対象者	18歳以上の市内在住の方
参加者数	25名
内容	<ul style="list-style-type: none">• 自分の身の周りであった経験や思いを踏まえながら、多様な人が共に過ごせる伊勢崎市について話し合う• 1テーマ約20分を1ラウンドとし、合計3テーマ（3ラウンド）で、グループに分かれて話し合いを行う• 話し合い中に出た意見は、模造紙を使用して1テーマ1枚ずつ模造紙に記録した

1. 伊勢崎市まちづくり市民ワークショップについて

1-4. 実施方法

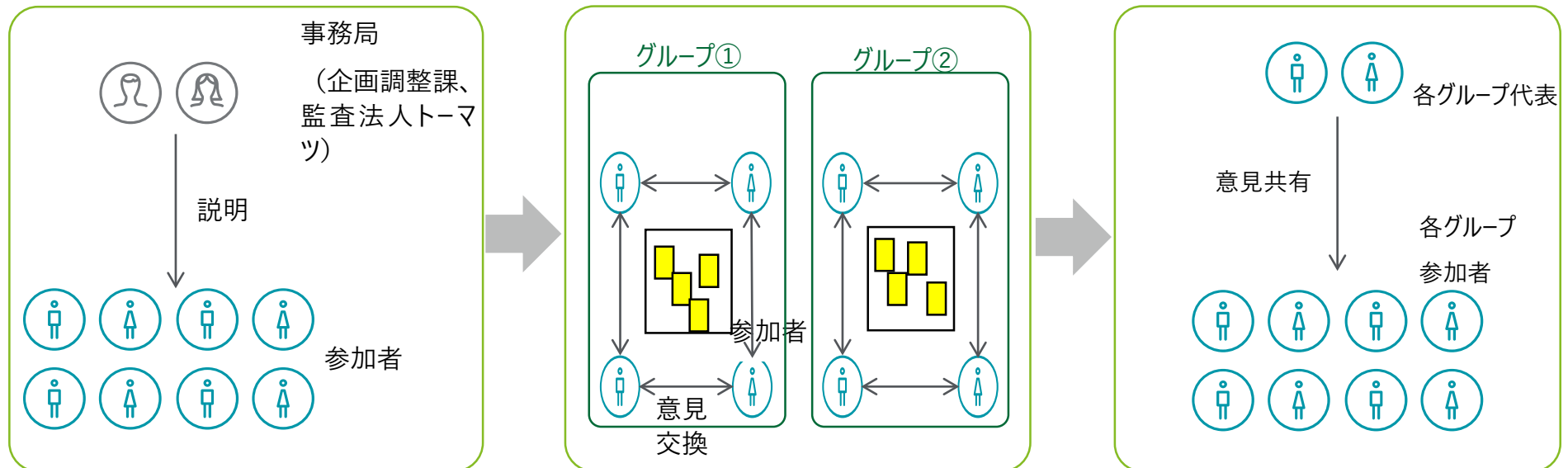
ワールドカフェ開催の方法

- 伊勢崎市まちづくり市民ワークショップ（第3回）は令和5年10月15日に伊勢崎市役所において、ワールドカフェ形式で実施しました。
- ワールドカフェ形式は、カフェでリラックスしているような雰囲気で議論を行います。各ラウンドごとに席移動を行い、グループで自由に意見を出し合い、それを他の人にも共有することで、まるで会場内の全員と対話しているような雰囲気での話し合いを目的とします。
- 話し合いの場面では、5グループに分けて話し合いを行いました。
- 話し合いの最中に出た意見は、付箋を用いて模造紙に記録することにより参加者同士で意見を共有しました。

説明・結果共有

各ラウンドの話し合い

発表

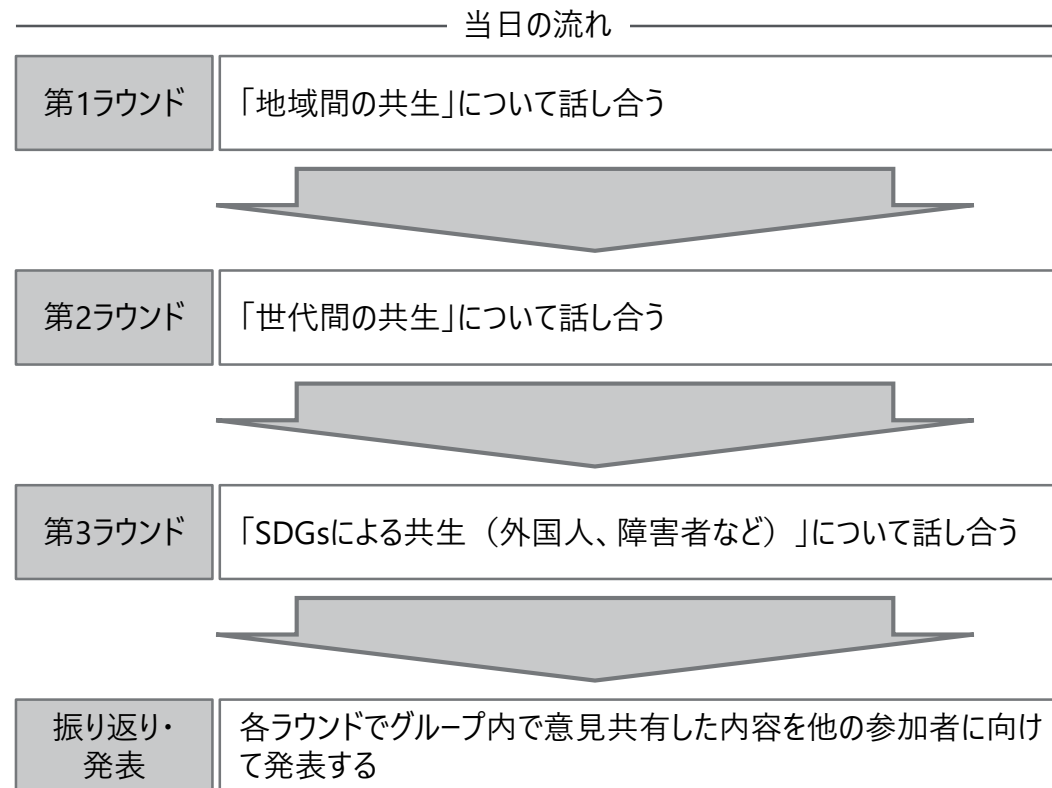


1. 伊勢崎市まちづくり市民ワークショップについて

1-5. 当日のスケジュール

当日の流れ

- まず、前回のワークショップの振り返りを行い、その後、アンケート結果やワールドカフェの進め方の説明を踏まえ、3ラウンドにわたって、ラウンドごとに異なるテーマについて話し合いました。
- 各ラウンドでは、テーマに関するエピソードをお話いただき、他者の発言を受けてさらに思いついたことや考えが変化したことがあれば発言していただきました。
- 意見が出そろった後、それぞれのテーマごとに、「地区別（第1ラウンド）」、「世代別（第2ラウンド）」、「SDGsの視点（障害者、外国人、LGBT、その他共生）」で挙げられた意見をハード・ソフト・意識別に分類（第3ラウンド）」で意見を整理していただきました。



1. 伊勢崎市まちづくり市民ワークショップについて

1-6. 当日のスケジュール

全体スケジュール

■ 当日の全体スケジュールは下表のとおりです。

時間	項目	内容	担当
14:00～	開会の挨拶	参加者への謝辞、開催の挨拶	伊勢崎市
14:03～	目的・総合計画について説明	ワークショップの目的や総合計画について説明	監査法人トーマツ
	前回のワークショップの振り返り	第2回のワークショップで出た意見の簡単な振り返り	監査法人トーマツ
	伊勢崎市の現況などのインプット	外国人・障害者などに関する市の現況について説明	監査法人トーマツ
14:13～	ワークショップの進め方について説明	ワークショップの進め方について説明	監査法人トーマツ
14:18～	自己紹介及び案内人決め	グループの中で「プチ自慢自己紹介」を実施、案内人の決定	参加者
14:26～	ワールドカフェの実施（第1ラウンド～第3ラウンド）	1.話し合い（20分間）:付箋に意見を記入し、模造紙に貼る 2.意見の分類（2分間）:意見を地区、世代、種類によって分類する 3.席替え（2分間）:案内人以外は席替えを行う 4.前ラウンドの話し合いの共有（2分間）:前回の内容を共有の順で実施し、合計で3セット行う	参加者
15:40～	グループ内での振り返り	ワークショップの感想を付箋に書き出し、テーブル内の参加者に共有	参加者
15:47～	発表	全体に向けて、各グループで出された意見を発表	参加者
15:55～	閉会の挨拶	参加者への謝辞、閉会の挨拶	伊勢崎市長

2. 市民意見

2. 市民意見

2-1. 意見の分類

意見の分類

- 第1ラウンドでは、意見を地区ごとに「長所」、「短所」、「その他」（※）に分類して集計しました。（P11～14参照）

※長所：他の地区と比べて優れている、強みになっているなどのポジティブな意見

短所：他の地区と比べて足りていない、弱みになっているなどのネガティブな意見

その他：長所とも短所とも捉えられるような意見、長所とも短所とも捉えられない意見

- 第2ラウンドでは、意見を「子ども」、「若者」、「中年代」、「高齢者」、「世代共通」（※）に分類して集計しました。（P15～19参照）

※子ども：～18歳程度（高校生程度まで）

若者：18歳程度～30歳代

中年代：40歳代～60歳程度

高齢者：60歳程度以上

世代共通：世代間を通じた意見

※世代別の分類は、ワークショップ当日に参加者に分類いただいたものを再度整理しています。

- 第3ラウンドでは、意見をSDGsの視点で「障害者に関するもの」、「外国人に関するもの」、「LGBTに関するもの」、「その他共生に関するもの」に分類し、それぞれにおいて、「ハード」、「ソフト」、「意識」（※）に分類して集計しました。（P20～25参照）

※ハード：施設や場所などに関する意見

ソフト：制度や取組などに関する意見

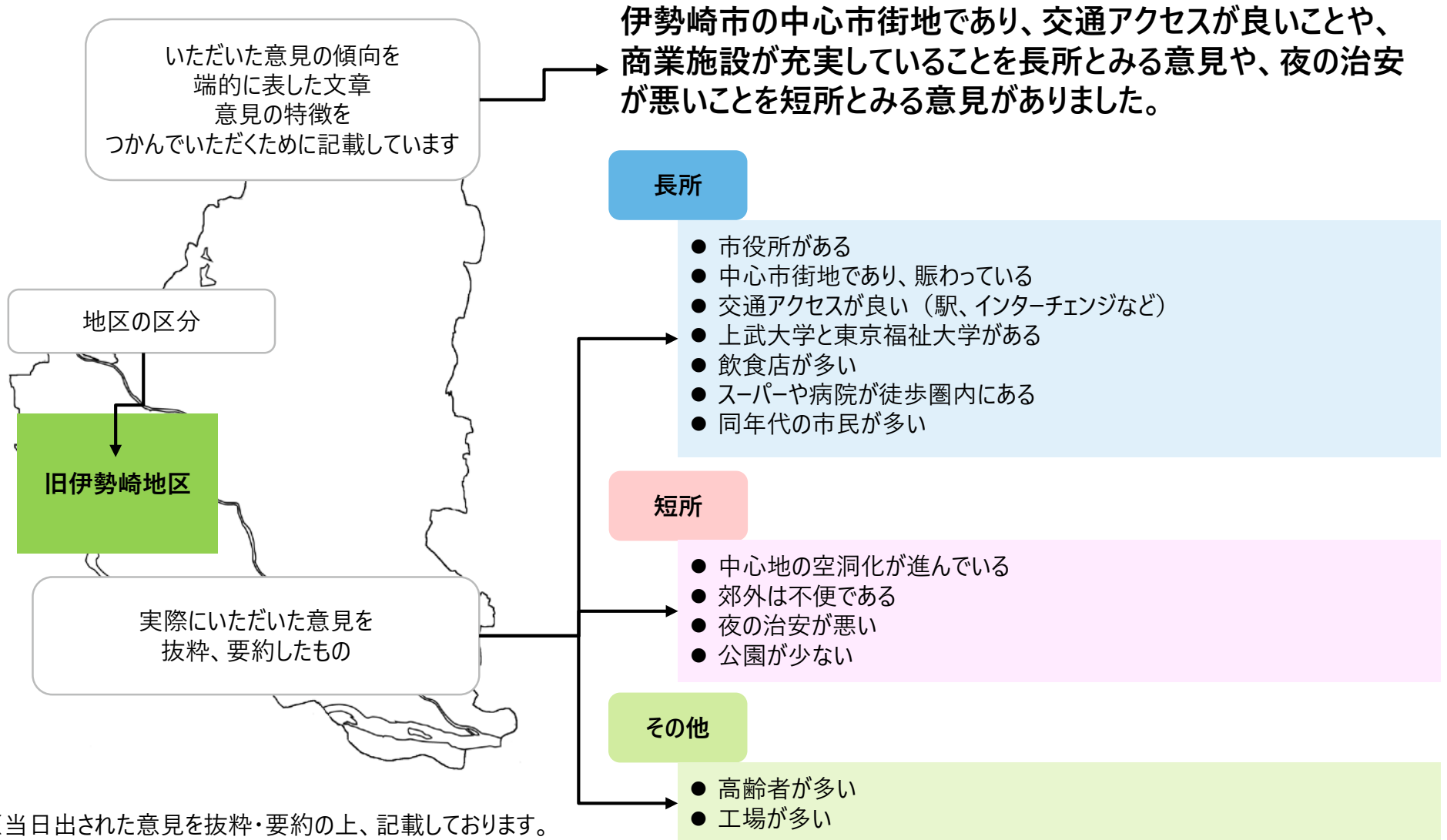
意識：市民の感情などに関する意見

※「ハード」、「ソフト」、「意識」の分類は、ワークショップ当日に参加者に分類いただきました。

2. 市民意見

2-2. 第1ラウンドで出された意見

意見スライドの見方



※当日出された意見を抜粋・要約の上、記載しております。

2. 市民意見

2-2. 第1ラウンドで出された意見

旧伊勢崎地区



伊勢崎市の中心市街地であり、交通アクセスが良いことや、商業施設が充実していることを長所とみる意見や、夜の治安が悪いことを短所とみる意見がありました。

長所

- 市役所がある
- 中心市街地であり、賑わっている
- 交通アクセスが良い（駅、インターチェンジなど）
- 上武大学と東京福祉大学がある
- 飲食店が多い
- スーパーや病院が徒歩圏内にある
- 同年代の市民が多い

短所

- 中心地の空洞化が進んでいる
- 郊外は不便である
- 夜の治安が悪い
- 公園が少ない

その他

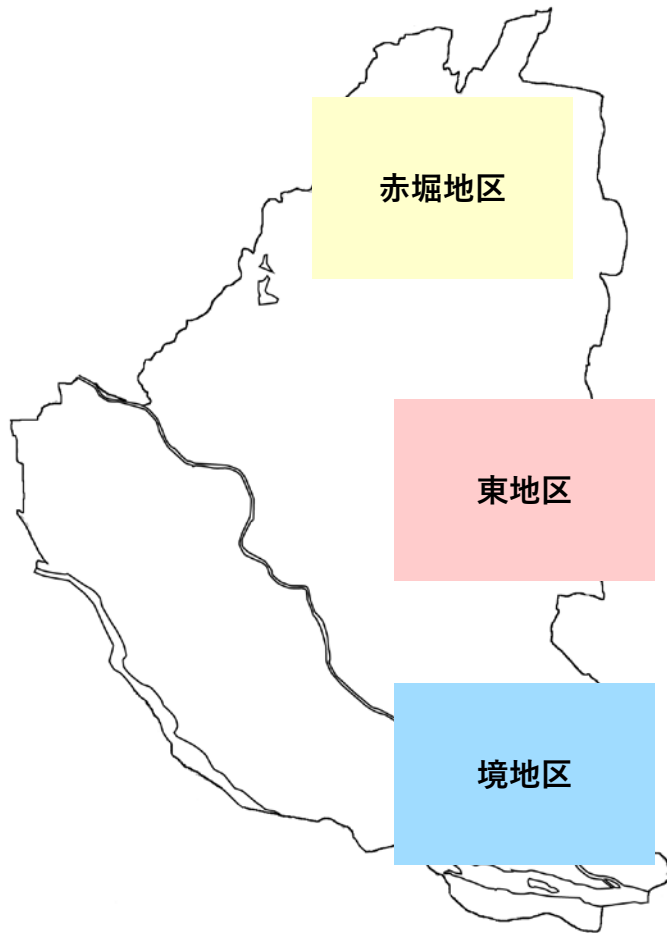
- 高齢者が多い
- 工場が多い

※当日出された意見を抜粋・要約の上、記載しております。

2. 市民意見

2-2. 第1ラウンドで出された意見

赤堀地区、東地区、境地区



自然の豊かさや商業施設が充実していることを長所とみる意見や、高校がないことや獣害があることを短所とみる意見がありました。

	赤堀地区	東地区	境地区
長所	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然が豊かである ● 歴史民俗資料館がある ● 人口が増えている ● 他の市町村に出やすい ● テニスコートなどスポーツができる場所が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ● スマーク伊勢崎がある ● 市民プールがある ● 公園が多い ● 人口が増加している ● 農地が多くある 	<ul style="list-style-type: none"> ● 田畑が多い ● 世界遺産がある ● 自然が豊かである ● 市民プールが利用しやすい ● ショッピングモールが充実している
短所	<ul style="list-style-type: none"> ● 高校がない ● 駅がない ● 人口増加に伴いインフラや田畑の整備が難しくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高校がない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高校がない ● 獣害がある ● 高齢者比率が高い ● 大きな公園が少ない
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 倉庫街がある 	特になし	特になし

※当日出された意見を抜粋・要約の上、記載しております。

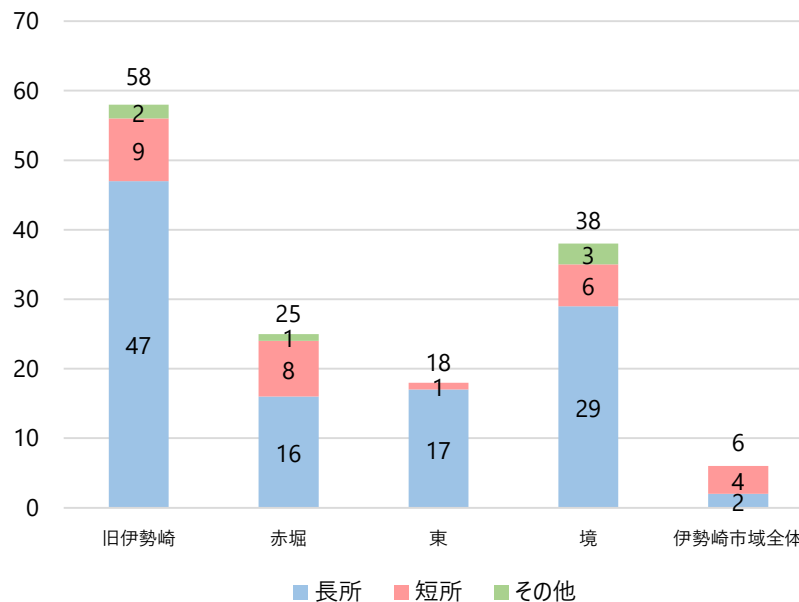
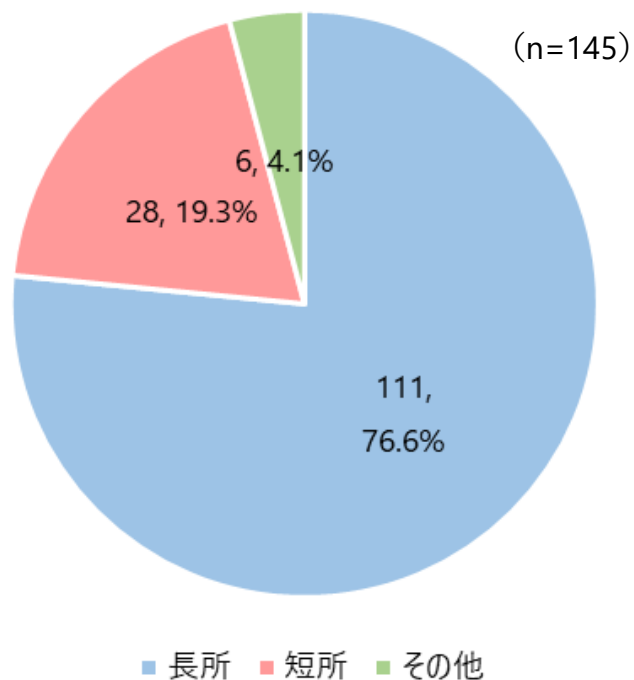
2. 市民意見

2-3. 第1ラウンドの意見の集計

第1ラウンドで出された意見の集計

テーマ：地域間の共生

- 第1ラウンドにおいて参加者から挙げられた意見について、地区別の意見数と、意見の種類によって分類しました。
- 全体で145件の意見をいただき、長所が111件で76.6%、短所が28件で19.3%でした。
- 地区別にみると、旧伊勢崎地区が最も多く58件、次いで境地区が38件と多くの意見が寄せられました。



伊勢崎市域全体に関する意見【抜粋】

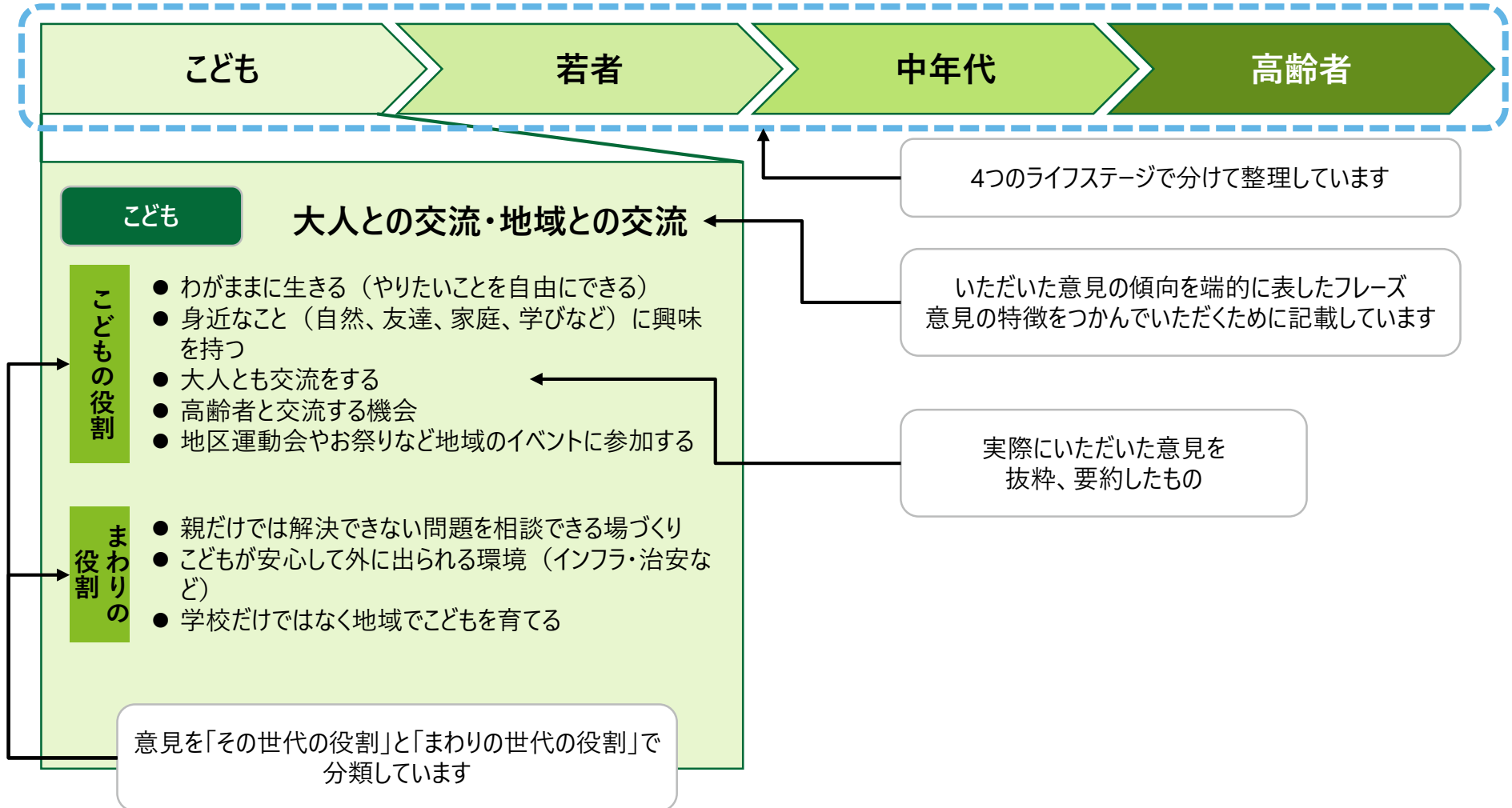
- 産業都市である
- 市街地と農村部の区分けがされている
- 通学に時間がかかる
- 地域間の格差がある
- 治安が悪い

2. 市民意見

2-4. 第2ラウンドで出された意見

意見スライドの見方

- 各世代について、特に目立った意見を記載しています。



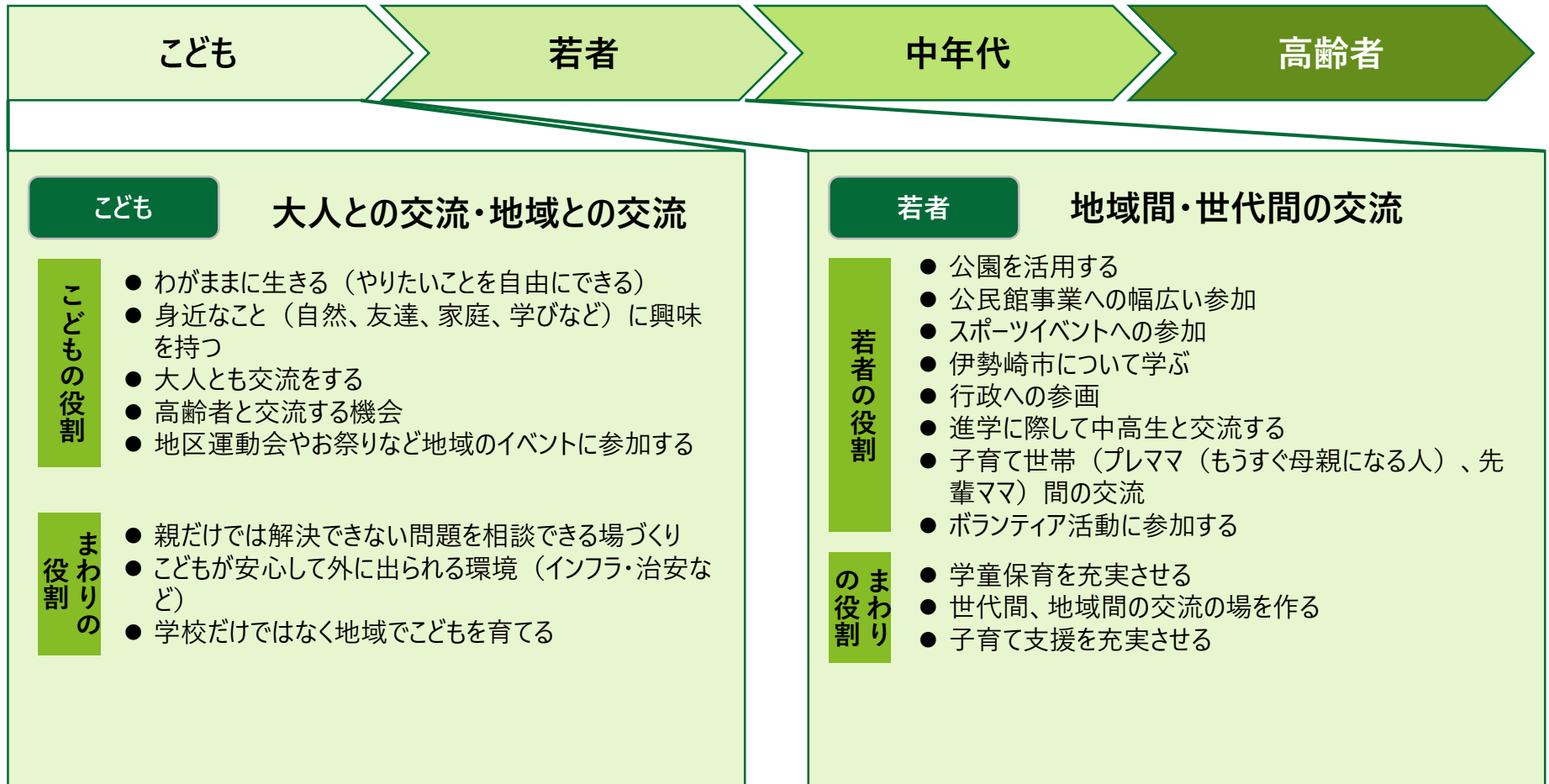
2. 市民意見

2-4. 第2ラウンドで出された意見

第2ラウンドで出された意見

テーマ：世代間の共生

■ 各世代について、特に目立った意見を記載しています。



※当日出された意見を抜粋・要約の上、記載しております。

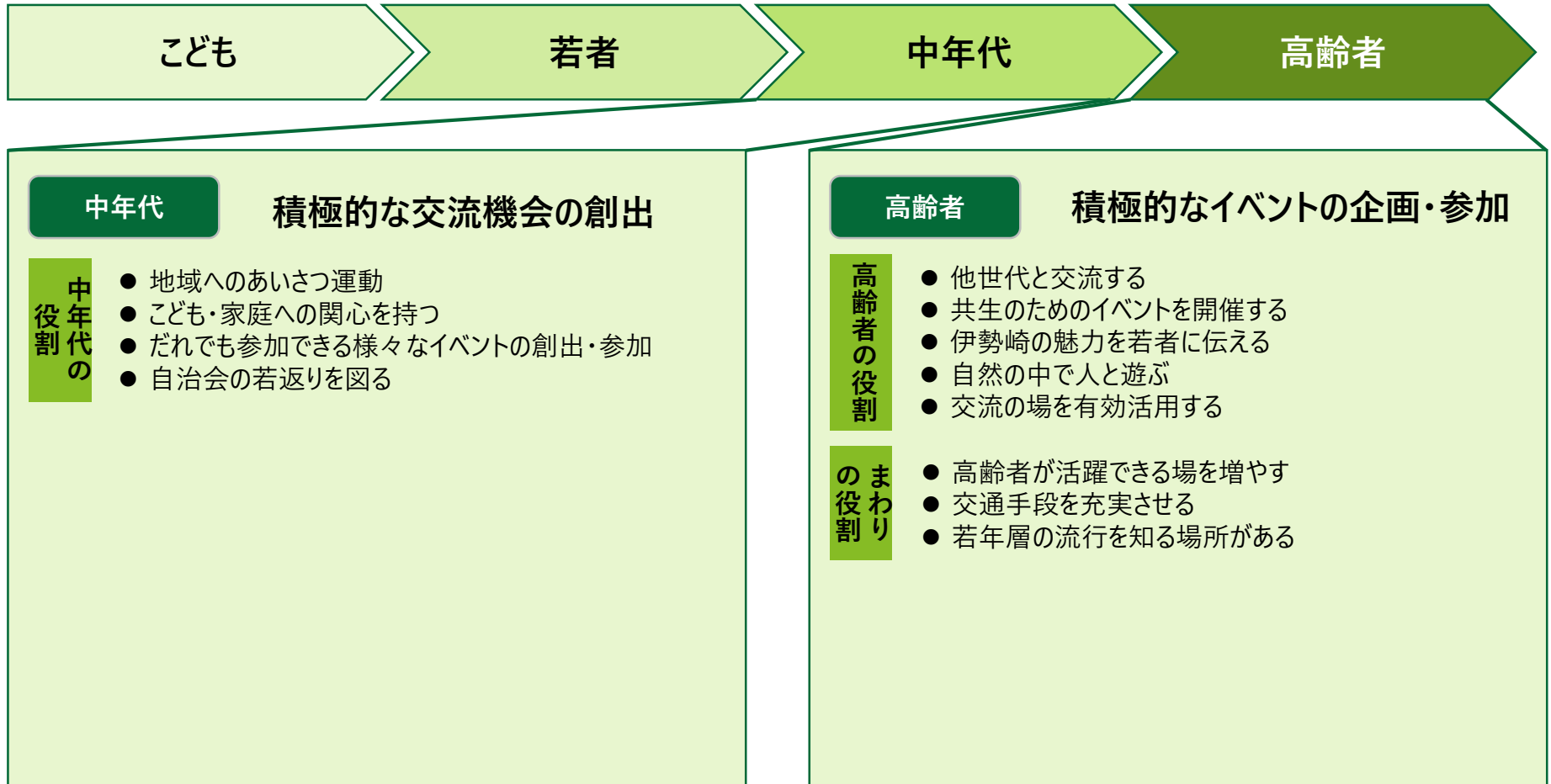
2. 市民意見

2-4. 第2ラウンドで出された意見

第2ラウンドで出された意見

テーマ：世代間の共生

- 各世代について、特に目立った意見を記載しています。



※当日出された意見を抜粋・要約の上、記載しております。

2. 市民意見

2-4. 第2ラウンドで出された意見

第2ラウンドで出された意見

テーマ：世代間の共生

- 世代を通じて挙げられた意見について、特に目立った意見を記載しています。

世代共通

世代共通

世代を超えて助け合える関係性

- 各世代が共に共有できる場所づくり
- ライフステージの概念を超える
- 親と子、さらに孫を基本とした世代間の交流
- 各世代に興味を持つ
- 図書館などのこどもから大人・高齢者までみんなが利用する施設
- 施設などで困っている人を誰もが助け合える関係

※当日出された意見を抜粋・要約の上、記載しております。

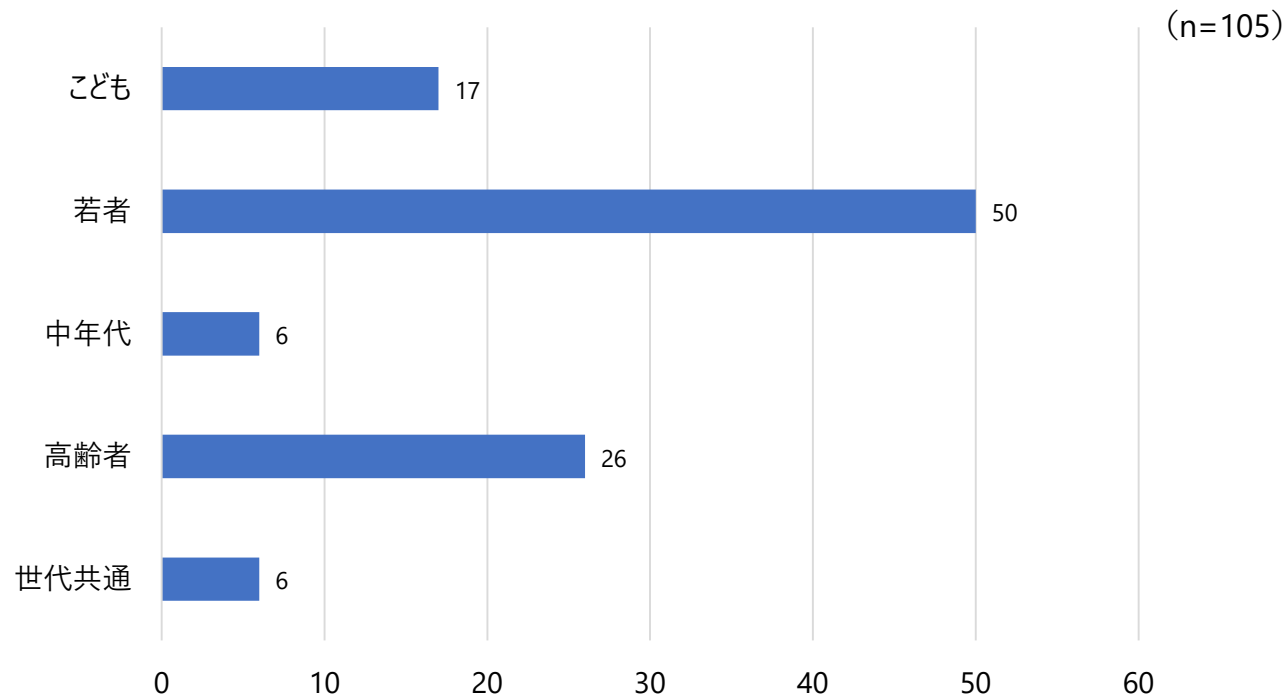
2. 市民意見

2-5. 第2ラウンドの意見の集計

第2ラウンドで出された意見の集計

テーマ：世代間の共生

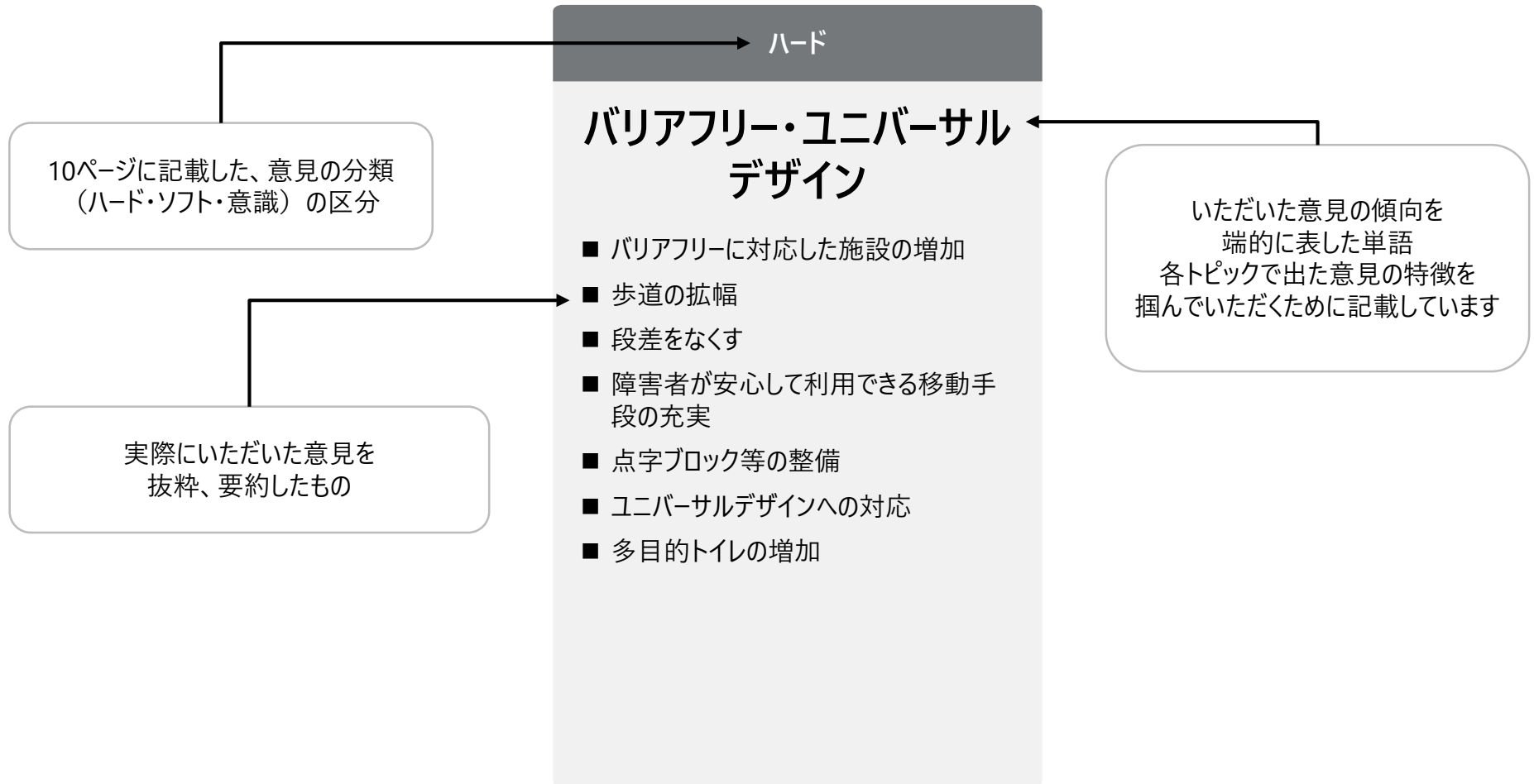
- 第2ラウンドにおいて参加者から挙げられた意見について、意見を「こども」、「若者」、「中年代」、「高齢者」、「世代共通」に分類して集計しました。
- 「若者」に該当する意見が50件と最も多く、続いて「高齢者」が26件、「こども」が17件と多くの意見が寄せられました。
- 参加者にこれからの伊勢崎市を担う若い人が多くいたことや、若い人たちに期待を寄せる50代以上の参加者が多かったことから、若者に関するディスカッションが活発に行われていた様子でした。



2. 市民意見

2-6. 第3ラウンドで出された意見

意見スライドの見方



2. 市民意見

2-6. 第3ラウンドで出された意見

SDGs（障害者）に関する意見

- 障害者に関する共生について、特に目立った意見を記載しています

ハード

バリアフリー・ユニバーサルデザイン

- バリアフリーに対応した施設の増加
- 歩道の拡幅
- 段差をなくす
- 障害者が安心して利用できる移動手段の充実
- 点字ブロック等の整備
- ユニバーサルデザインへの対応
- 多目的トイレの増加

ソフト

障害者が活躍できる場

- 障害者への経済的な支援
- 小さな障害を見過ごさない仕組み
- 障害者の考えを知る機会
- 盲導犬や介助犬を可とする施設の増加
- 障害者も働ける環境
- 障害者も参加可能なイベント

意識

市民の障害への理解

- ヘルプマークの認知を高める
- 障害の特性を知る・理解する
- 障害者に対する差別・偏見の解消
- 障害者だから助けるのではなく、困っているから助けるという意識

※当日出された意見を抜粋・要約の上、記載しております。

2. 市民意見

2-6. 第3ラウンドで出された意見

SDGs（外国人）に関する意見

- 外国人に関する共生について、特に目立った意見を記載しています

ハード

外国人との交流の場

- 外国人の生活の安定
- 外国人との交流の場を増やす
- 国際交流センターの設置
- 外国人特区を作る
- 外国の文化が学べるテーマパーク
- 小学校に日本語教室を設置する

ソフト

言語・文化の理解・教育

- 外国人コミュニティに留まらない枠組み
- スマホ等の翻訳機能の活用
- 多言語化対応
- 日本語を話せない人への日本語教育
- 日本人の語学教育（英語など）
- 伊勢崎の文化・歴史を共に学ぶ機会
- 学校給食などでの食育
- 外国籍のこどもの保護者支援
- こども同士が一緒に遊ぶ
- 外国人犯罪の防止
- ごみ処理方法など市のルールへの理解を促す

意識

外国人と共に生活する

- 外国人に対する意識の再確認
- 外国人と一緒に生活に慣れる
- 外国人に日本人から歩み寄る
- 外国の文化と伊勢崎の文化の違いへの理解を深める

※当日出された意見を抜粋・要約の上、記載しております。

2. 市民意見

2-6. 第3ラウンドで出された意見

SDGs (LGBT) に関する意見

■ LGBTに関する共生について、特に目立った意見を記載しています

ハード

男性と女性の区分

- 男性と女性の区分に捉われない
- オールジェンダートイレの設置

ソフト

性別に関するルール・仕組みづくり

- 不要な性別欄の廃止
- 性に関する悩みを相談・解決できる仕組みづくり
- LGBTの人と交流する機会
- メンズ・レディースの区分（服）を廃止してサイズだけにする
- 制服の男女を選べるようにする
- 髪型に関するルールを自由化する

意識

LGBTに関する知識・理解

- 過剰に性別を意識しない
- LGBTに関する理解
- LGBTに関する知識を付ける

※当日出された意見を抜粋・要約の上、記載しております。

2. 市民意見

2-6. 第3ラウンドで出された意見

SDGs（その他共生）に関する意見

- その他の共生について、特に目立った意見を記載しています

ハード

多様な施設、学べる場

- 子連れでも利用できるトイレの設置
- 選択できる自由な施設をつくる
- ルールや規制を教える場づくり

ソフト

地域での共生

- 地域にみんなが参加できる枠組み
- スポーツイベント
- 相談チャット
- 学校でSDGsを教える
- 宗教を知る機会づくり
- 地域の特性を活かす施策
- 地域間格差の是正

意識

他者を受け入れる意識

- 知識を増やす
- 少数派への理解
- 宗教の理解
- 他者を否定せずに受け入れる
- 他者に関心を持つ
- 考えの違いを認め合う
- 自分事として考える

※当日出された意見を抜粋・要約の上、記載しております。

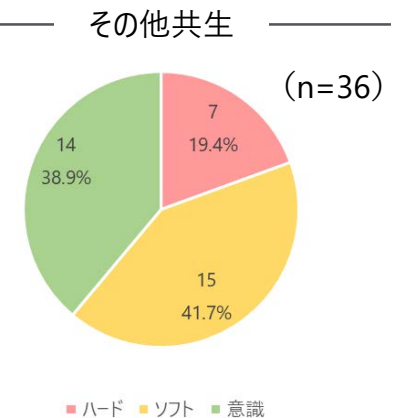
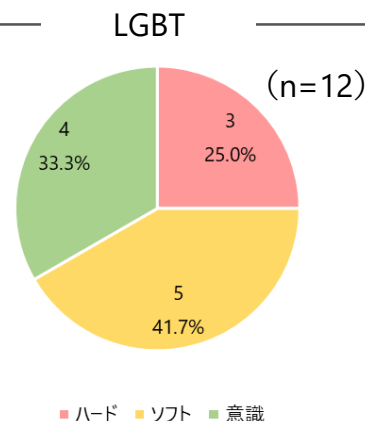
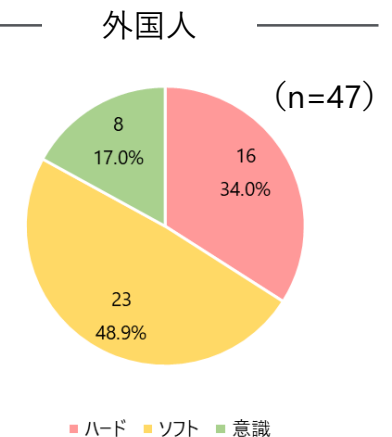
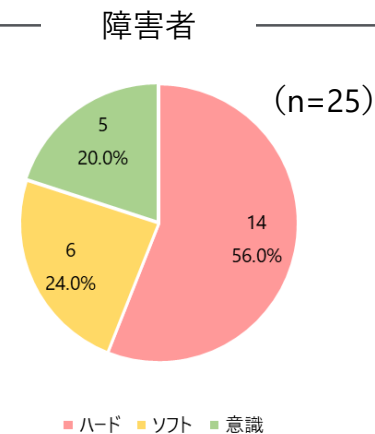
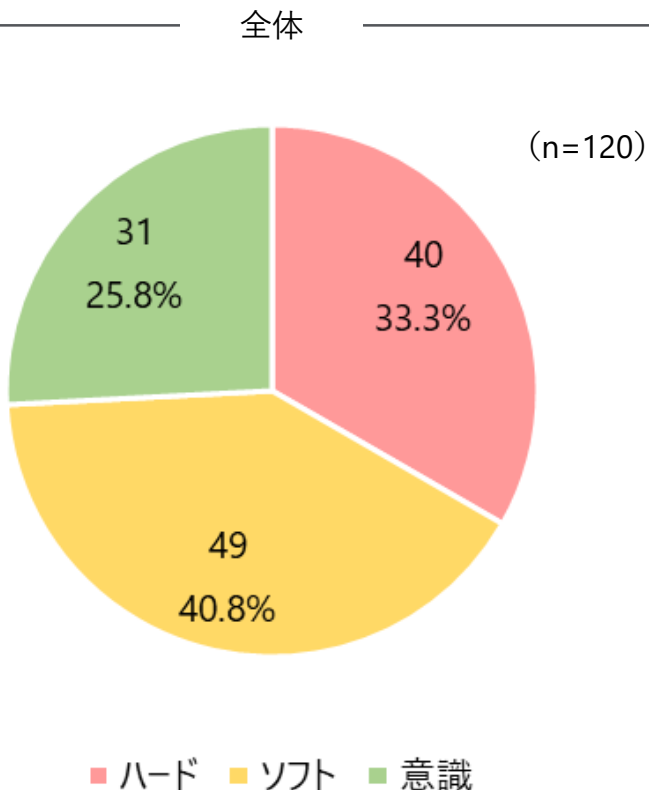
2. 市民意見

2-7. 第3ラウンドの意見の集計

第3ラウンドで出された意見の集計

テーマ：SDGsによる共生

- 第3ラウンドにおいて参加者から挙げられた意見について、SDGsの視点（障害者、外国人、LGBT、その他共生）で挙げられた意見を「ハード」、「ソフト」、「意識」の3種類に分類しました。
- 障害者に関する意見ではハードに関する意見が多く見られ、外国人に関する意見ではソフトに関する意見が多くありました。また、その他共生（共生自体の考え方など）に関する意見では意識に関する意見が多く寄せられました。



※意見の割合は各項目の小数第2位を四捨五入しており、合計が100%にならないことがあります

3. 参加者アンケートの結果

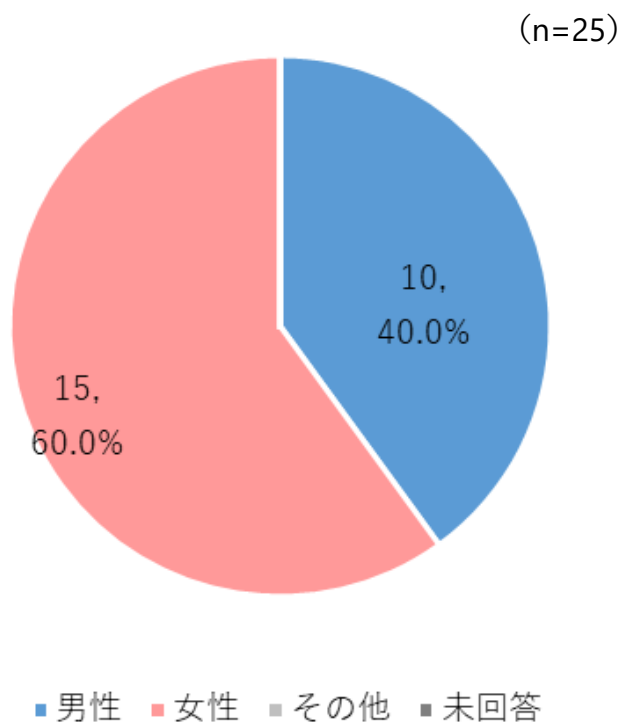
※アンケートへの回答割合は各項目の小数第2位を四捨五入しており、合計が100%にならないことがあります

3. 参加者アンケートの結果： 属性(1/2)

参加者25名の方からアンケートに回答いただきました。

性別

- アンケートを記入いただいた25名のうち、性別の内訳は男性が10名で40.0%、女性が15名で60.0%、その他が0名、未回答が0名でした。



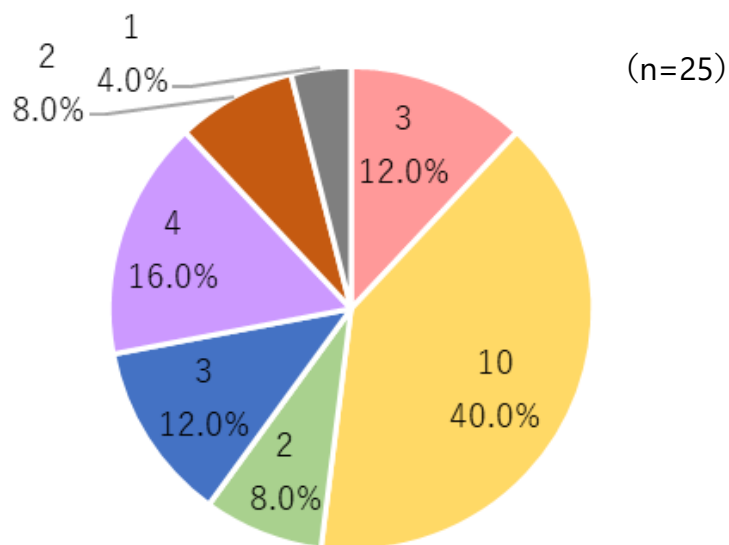
- 性別ごとの回答者数（人数）

男性	女性	その他	未回答
10	15	0	0

3. 参加者アンケートの結果： 属性(2/2)

年代

- 年代の内訳については20代が最も多く10名で40.0%、続いて60代が多く4名で16.0%でした。



■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代
■ 50代 ■ 60代 ■ 70代以上 ■ 未回答

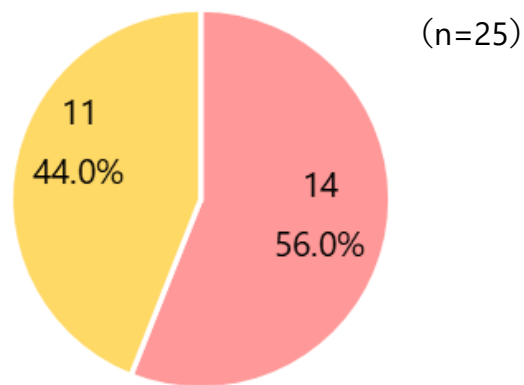
- 年齢ごとの回答者数（人数）

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代 ~	未回 答
3	10	2	0	3	4	2	1

3. 参加者アンケートの結果： 満足度（1/6）

本日のワークショップは満足いただけましたか？

- 「満足」、「おおむね満足」、「どちらともいえない」、「やや不満」、「不満」の5択でアンケートを実施しました。
- 「満足」が最も多く14件で56.0%となりました。



- 満足
- おおむね満足
- どちらともいえない
- やや不満
- 不満

■ 各満足度別の人数

満足	おおむね満足	どちらともいえない	やや不満	不満
14	11	0	0	0

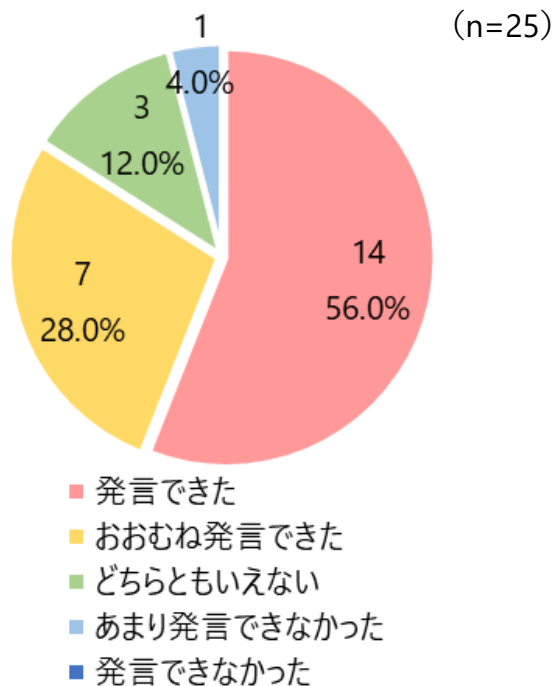
■ 主な意見

- あっという間に終わってしまった
- 人それぞれの意見があり、多様な考え方に触れることができた
- 伊勢崎のことについて新たに知ることができたこともあった

3. 参加者アンケートの結果： 満足度（2/6）

本日のワークショップでは、ご自分の意見を十分に発言できましたか？

- 「発言できた」、「おおむね発言できた」、「どちらともいえない」、「あまり発言できなかった」、「発言できなかった」の5択でアンケートを実施しました。
- 「発言できた」が最も多く14件で56.0%、続いて「おおむね発言できた」が7件で28.0%となりました。



■ 各発言度合い別の人数

発言できた	おおむね発言できた	どちらともいえない	あまり発言できなかった	発言できなかった
14	7	3	1	0

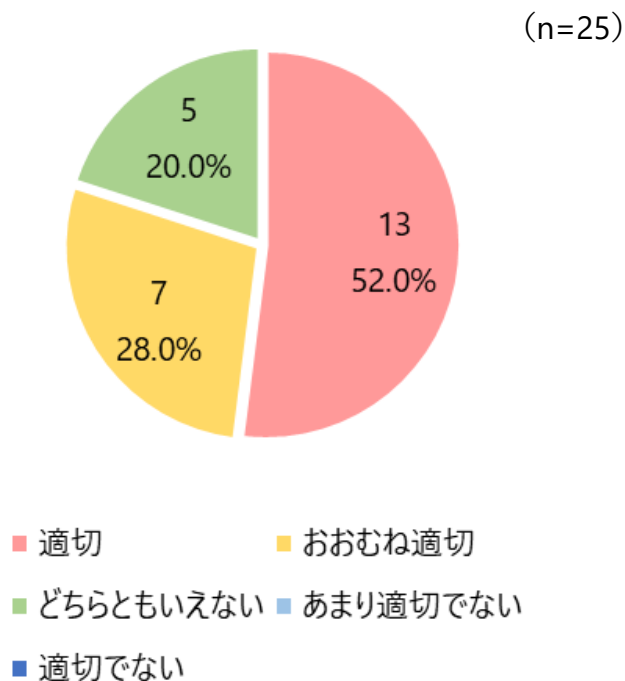
■ 主な意見

- 意見を伝えるのが難しかった
- 伊勢崎に住んでいないとわからないこともあり、あまり発言できなかった

3. 参加者アンケートの結果： 満足度（3/6）

本日のワークショップのテーマ設定は適切だったと思いますか？

- 「適切」、「おおむね適切」、「どちらともいえない」、「あまり適切でない」、「適切でない」の5択でアンケートを実施しました。
- 「適切」が最も多く13件で52.0%、続いて「おおむね適切」が7件で28.0%となりました。



■ テーマに対する満足度別の人数

適切	おおむね適切	どちらともいえない	あまり適切でない	適切でない
13	7	5	0	0

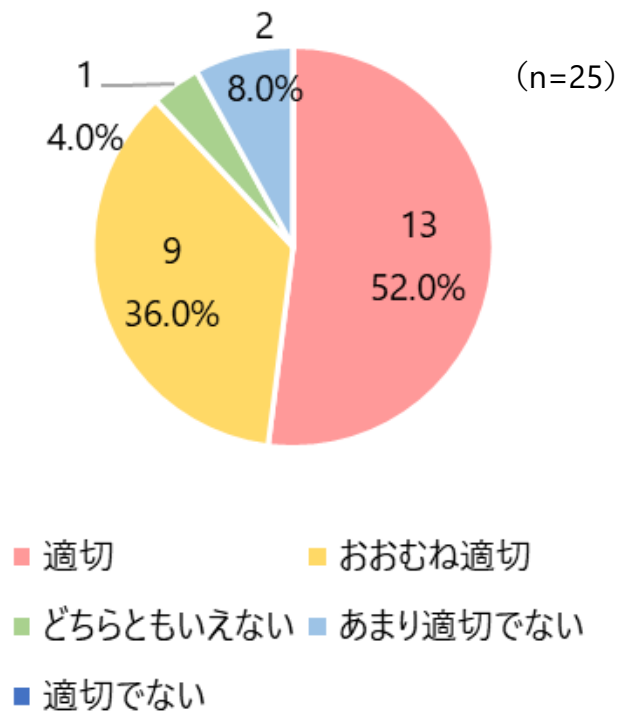
■ 主な意見

- 難しかった。テーマが広く時間が足りない印象だった
- 障がいやLGBTQはデリケートな部分だと思い少し話しにくかった
- 第1回、第2回に比べて少し難しかった
- テーマによって、そのワードを知らないと案を出しにくいと思った
- もっと具体的なテーマで話し合ったほうがよい

3. 参加者アンケートの結果： 満足度（4/6）

本日のワークショップの所要時間は適切だったと思いますか？

- 「適切」、「おおむね適切」、「どちらともいえない」、「あまり適切でない」、「適切でない」の5択でアンケートを実施しました。
- 「適切」が最も多く13件で52.0%、続いて「おおむね適切」が9件で36.0%となりました。



■ 所要時間に対する満足度別の人数

満足度	人数
適切	13
おおむね適切	9
どちらともいえない	1
あまり適切でない	2
適切でない	0

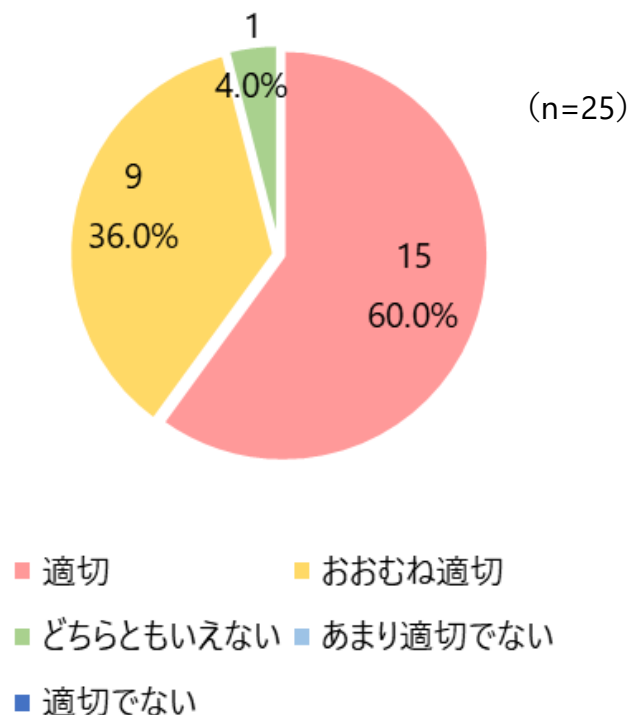
■ 主な意見

- もっとがっつり聞いて話したかった
- 個人ワークが少し短いと感じた
- 全体の時間に対して3テーマは多すぎると思う

3. 参加者アンケートの結果： 満足度（5/6）

ワークショップの開催日時は適切だったと思いますか？

- 「適切」、「おおむね適切」、「どちらともいえない」、「あまり適切でない」、「適切でない」の5択でアンケートを実施しました。
- 「適切」が最も多く15件で60.0%、続いて「おおむね適切」が9件で36.0%となりました。



■ 所要時間に対する満足度別の人数

満足度	適切	おおむね適切	どちらともいえない	あまり適切でない	適切でない
人数	15	9	1	0	0

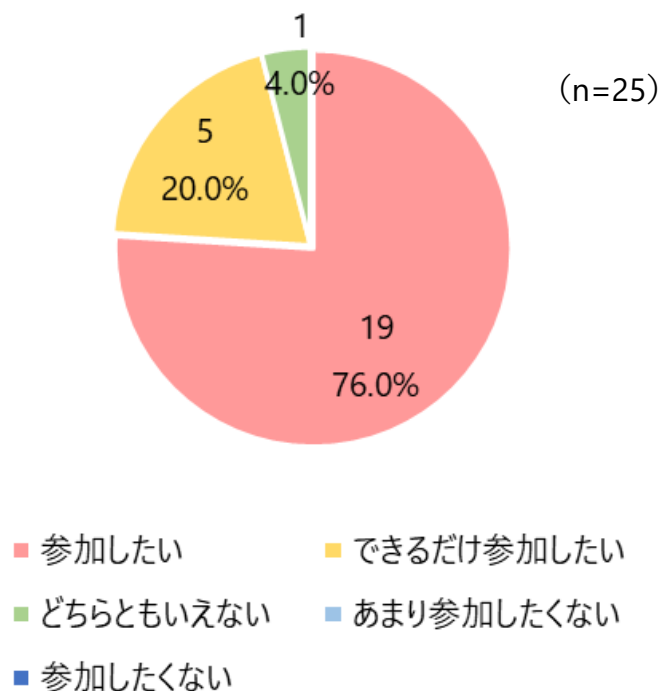
■ 主な意見

- 個人的には土曜日開催の方がありがたかった
- 日曜日だったが思っていたより人が来ていて驚いた

3. 参加者アンケートの結果： 満足度（6/6）

こうした機会があればまた参加したいと思いますか？

- 「参加したい」、「できるだけ参加したい」、「どちらともいえない」、「あまり参加したくない」、「参加したくない」の5択でアンケートを実施しました。
- 「参加したい」が最も多く19件で76.0%、続いて「できるだけ参加したい」が5件で20.0%となりました。



■ 所要時間に対する満足度別の人数

参加したい	できるだけ参加したい	どちらともいえない	あまり参加したくない	参加したくない
19	5	1	0	0

■ 主な意見

- 多様な意見を聞ける機会なのでまた参加したい
- 学生にとっては社会に出る前に良い経験になると思った

3. 参加者アンケートの結果： その他の意見

本日のワークショップ中で、気づいたことや感じたことがあればお聞かせください。

- 幅広い年代、色々な人と意見を交えられ、良かったといった意見を多くいただきました。
- 他の参加者の方の意見で新たな気づきを得た方が多くいらっしゃいました

【自由記述欄に寄せられた意見（気付いたこと・感じたこと）※一部抜粋】

<p>40代、50代と関わる機会が全くなかったので、話ができて良かった。</p>	<p>Chiicaの提供予定サービスに「全員相互の交換」があったのでボランティア交流に役立つよう検討していただきたいと思った。農村部で必要な労働を住宅地の元気、老人に連絡できるシステムがあれば応援できるのかも。</p>
<p>多人数が少人数に対して何ができるかを考えがちだったが、少人数の方から多人数に対してどのように訴え、求めればよいのかという考え方を学んだ。そのように広く視野を持ち理解していくことで、様々な人や物事に対する知識をつけることが環境を変えていく第一歩なのかなと強く感じられた。3回の活動を通してとても深い学びが得られた。</p>	<p>今回のワークショップで1番盛り上がった話は「SDGsの外国の方への接し方について」だった。外国の方が多く、スムーズに話を進めることができ、充実した時間を過ごすことができた。</p>
<p>各地区について知らなかったことを知ることができた。世代間の共生については、交流の機会が少ないというのが大きな問題で、互いに関わり合う気持ちを持つことが重要だと感じた。SDGsの共生についてはさまざまな意見が出て、すぐに実現させるのは難しいが、工夫次第ですぐに実現できそうなものもあったため、頑張って実現してほしいと思った。</p>	<p>世代間の共生やSDGsによる共生という題はとても難しかった。世代間の共生では、子どもを外へ誘い出す集団参加や地域のあいさつ運動が重要になってくると感じた。SDGsについてはまだまだ知識不足なので知っていききたい。3回のワークショップを通じて様々な世代の方の意見を聞いてよかった。</p>
<p>今回、テーマが難しく積極的に意見を言う事ができなかった。今まで共生について考えずに生活していたことを反省した。皆さんの意見より、様々な人と共生していくためには、交流の場を作り、違いを認め合い、互いに尊重し合い、共に問題を解決する事が必要であると感じた。</p>	<p>様々な意見が知れて、大変勉強になった。地域間の共生では、市外への流失を留めて、市内での消費を促すことが大事だと感じた。今回のワークショップでは大学で学んだことを活かして発言できたと思う。</p>
<p>共生について考えたが、1人1人考えが違うため、結論を出すことは難しいと思った。肯定意見もあれば、もちろん否定の意見もあることを全3回のワークショップで学べた。</p>	<p>自分と同じ意見や全く異なる貴重な意見が聞いて大変勉強になった。他の参加者達の考えさせられる深い思いが、大まかではあるがわかった気がする。よりよく住みやすい伊勢崎市が構築される事を期待したい。</p>

※ アンケートにご記載いただいた内容を抜粋・要約の上、掲載しています。

4. 当日の様子

4. 当日の様子 グループワークの様子

